

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	英語Ⅲ
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0277		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	生物応用化学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	BIG DIPPER English Communication Ⅲ (数研出版), BIG DIPPER English Communication Ⅲ ワークブック (復習用教材), 英和辞典、ビジョクエスト総合英語 (文法参考書)				
担当教員	米永 正敏				
<b>到達目標</b>					
1. 文法力を強化し、英文の構造を理解して読めるようになる。 2. 基礎的な語彙力を強化する。 3. 様々なトピックに触れ、視野を広げる。 4. テイクテーションや音読を通じて会話能力の基礎を身につける。					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	教科書の文章がすべて理解できる。	ノートを参照すれば、教科書の文章がほぼ理解できる。	学習した内容を、自分で記録したノートが無い。		
評価項目2	教科書に即した単語テストで80%以上得点する。	教科書に即した単語テストで60%以上得点する。	単語テストで60%以上得点できない。		
評価項目3	学習した部分のCDを聞いて、内容が理解できる。	英語のアクセントやイントネーション、語のつながりに注意することができる。	英語を話したり聞いたりする際に、イントネーションやアクセント、語のつながりに注意を払うことが重要性だと理解していない。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	1・2年で学んだ学習内容を土台に、英語を使った基礎的なコミュニケーション能力を向上させる。多様なトピックの英文に触れることによって「読む」「聞く」技能を強化することに加え、既習の文法事項の確認と語彙の増強によって「書く」ための基礎を固める。さらに音読等による発音の練習によって「話す」ことへの自信をつける。				
授業の進め方・方法	授業は教科書に沿って、1回に1 Lesson (1 Part)を目安に進める。各自でノートを作成し、本文の内容把握及び新出語彙調べ等の予習を行ってこよう。また、1 Lesson毎に復習としてワークブックの問題を解いてこよう。適宜、単語テスト、テイクテーションテスト、音読テストを行う。				
注意点	(1) 評価: 中間試験、期末試験70%、その他小テスト、課題レポート等で30% (2) 評価基準: 60点以上を合格とする。 (3) 再試験は必要な場合は実施する。				
<b>授業計画</b>					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	イントロダクション (授業と課題の説明、Sound Tips, Punctuation)	英語のアクセントやリズムの特徴を知る	
		2週	L1 歴史 Mile High (言い換え表現)	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		3週	L2 スポーツ The 55-Year Race (時間的順序)	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		4週	L3 科学 Chew and Chew Some More (対比)	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		5週	L4 ウェブサイト Online Word-of-Mouth	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		6週	L5 自然 After the Flowers (因果関係)	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		7週	L6 文化 India's Incredible Industry (追加・列挙)	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		8週	L7 旅行ガイド・グラフ World Weather (譲歩)	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
	2ndQ	9週	L8 人生 Alfred Nobel: A Person of Peace	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		10週	L9 自然 Great Migrations	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		11週	L10 パンフレット Art on Display	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		12週	L11 社会 Thinking Outside the Box	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		13週	L12 科学 She Sells Seashells by the Seashore	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		14週	L13 ウェブサイト Antarctica by Cruise Ship	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		15週	L14 心理 Keys to Winning	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		16週			
後期	3rdQ	1週	L15 科学 The Immortal Jellyfish (新聞記事の読み方)	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		2週	L16 新聞記事 Miracle on the Hudson	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		3週	L17 文化・国際理解 Rude Japanese? Part 1	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		4週	L17 文化・国際理解 Rude Japanese? Part 2	文化・国際理解に関する語彙や表現を覚える。	
		5週	L18 環境 Bottled Water? No Water? Part 1	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		6週	L18 環境 Bottled Water? No Water? Part 2	環境・自然に関する語彙や表現を覚える。	
		7週	L19 情報社会 Manners Still Matter Part 1	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		8週	L19 情報社会 Manners Still Matter Part 2	コミュニケーション・情報社会に関する語彙や表現を覚える。	
	4thQ	9週	L20 心理・人生 Creating Your Own Luck Part 1	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	
		10週	L20 心理・人生 Creating Your Own Luck Part 2	心理・人生に関する語彙や表現を覚える。	
		11週	L21 科学・技術 Left in Space Part 1	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。	

	12週	L21 科学・技術 Left in Space Part 2	科学・技術に関する語彙や表現を覚える。
	13週	L22 Writing a Summary 1 (1) 要約文を作る	文章を読んで要旨をつかむ。
	14週	L23 Writing a Summary 2 (1) 内容を絞る	文章を読んで要旨をつかみ、要約文にまとめる方法を知る。
	15週	L24 Writing a Summary 3 (1) 意見と事実	文章に書かれている内容から、意見と事実を区別する。
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	2	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発音できる。	2	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	1	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	1	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	1	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	1	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	2	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	2	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	1	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	2	
			高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	2		
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	2	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	1	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	1	
自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	1					

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト等	合計
総合評価割合	70	10	0	10	0	10	100
基礎的能力	70	10	0	10	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0